

財団法人 大阪ガス国際交流財団 設立趣意書**財団法人 大阪ガス国際交流財団
設立趣意書**

世界では、東西二極の冷戦構造が崩壊し、世界的な緊張緩和の中で、グローバル化が急速に進展しており、今後はさらに加速度的な構造変化と、極めて早いスピードで、しかもこれまでの延長線上にはない大きな枠組みの変化が起こるであろうと予測されます。

このような国際関係のなかにあつて、経済的にめざましい発展を遂げた我が国は、世界における役割も高まり、今やいかに世界に貢献するかが問われています。

そして企業は、企業をとりまく人々、地域社会、国、国際社会の関わりの中で、お互いに手を取りあつて共生することで健全な発展を維持することができます。

昭和50年以来、大阪ガスは天然ガスへの転換を進めてきましたが、平成2年12月をもって全供給区域において完了し、長期にわたる安定供給体制を確立することができました。この安定供給体制をより一層強固なものとするために天然ガス産出国との相互理解を深めることが重要であります。

以上のような観点にたつて、このほど大阪ガス国際交流財団を設立することといたしました。

この財団は、南東アジア及び大洋州地域の天然ガス産出国の小学校、中学校、高校、大学等を対象とする教育機材の助成、同地域の天然ガス関連技術に関する試験研究に対する助成、同地域の高校及び大学の学生等を対象とする奨学金の支給等を行うことにより、ガス事業の健全な発展を図り、もって我が国産業の進展に寄与するとともに国際親善に資することを目的とするものであります。

平成4年7月28日

設立者一同